



みんな満足



～相手満足の先にある景色を目ざして～

H31. 2/21
NO.48

ついにひと村になりました。あと8日です。毎日教室へ向かうときにカウントダウンカレンダーが目に留まりますが「いよいよ近づいてきたな」と思わせてくれます。

今日は奉仕作業があった。体中が痛くなる程にがんばっただけあって、割ときれいになったのではないだろうか。

今後の予定

日曜	主な学校行事
22金	3年教科授業終了
23土	
24日	
25月	ファイナル実力テスト1日目 ①国語②数学③社会 ④学年式練習 ⑤送る会の練習 ⑥3年生を送る会
26火	ファイナル実力テスト2日目 ①理科②英語 ⑤⑥お別れレクリエーション
27水	①校長講話 ④3年式練習 ⑤3年歌練習 ⑥卒業式全体練習
28木	①卒業式全体練習 ②③卒業式予行練習 ④卒業式歌練習 人生最後(に)なるかもしれないの給食 ⑤⑥教室内掲示物はがし+教室お別れ大掃除 ※荷物をすべて持ち帰ります
1金	①予行練習修正(学年) ②全体式練習 ③全体歌練習 ④クリーンタイム→帰りの会 →公立受検者事前指導
2土	
3日	
4月	①同窓会入会式 前芝賞授賞式 ②全校式練習 ③学年集会 ④学級の時間
5火	卒業証書授与式

奉仕作業では、「黙々と」という言葉がひょんな働きぶりでした。腕や腰が痛くなりながらも、弱音を吐かず、窓拭き、床みがき、落ち葉拾い、砂運びなどに黙々と取り組んでいました。

今日は奉仕作業がありました。最初はみんなステージをやると思ったら下駄箱だったので驚きました。実際やってみるとすごく汚くて1年経つとこんなになるんだなと思いました。疲れたけどすごく楽しかったです。掃除をするのは大切と分かりました。

奉仕作業で階段を掃除しました。メラミンでこすっては雑巾で拭きを繰り返しました。右腕が痛い。これで感謝の気持ちが伝わると思います。

外トイレは普段使っていない分、あまり汚れてはなかったけど、砂を出すのが大変でした。【濡標より】



砂をかき出すために体を側溝の中に入れてしまうと！この意欲に感激しました!!

校舎施設への感謝

の気持ちは十分伝わったと思います。

先生方への感謝は、メッセージカードや直接お礼を言うことで伝えています。

後輩、地域、そしてこまで育ててくださった親への

感謝を忘れてはいけません。中学校の卒業というのは、人生というものでして考えたときにも、1つの大きな区切りとなります。きちんと感謝を伝えましょう。

明日で教科授業は終了です。来週からは卒業式の全体練習の開始です。終わりに向けて本格始動します。

今日は特に何もなかった。やることもないので勉強した。

今日は塾から帰ったら家に誰もいなくて、30分くらい外にいました。6時くらいだったので寒かったです。次からカギをもっていきたいと思います。【濡標より】



「することがないから勉強する」って言葉を当たり前にかけるところがすごいよね。意識が高いなあ。さすがは受験生!!

何気ないことだけど大切なこと、たとえば「はい、ありがとう、すみません」といった言葉。たとえば、かはんや服の整とん。(代わりに)や、ておいたよー」という気遣い。



服をきちんとたたんでから体育の授業へ。何気ないことだけどこういうことって大事だよ。

たぶん、こういうことも初めは教えられたことだと思います。今あたり前にできる人とそうでない人がいますよね。今さら教わることもない。でも、大人になったとき本当に大切な、実はこういうことなんじゃないかなと思います。



卒業式に向けて歌練習をしています。出だしてもっと声を出したいな。

若いころの私は、とにかく外国に出ることにあこがれをもっていましたね。「数学よりも英語が好きだった」というのは事実で、英語の勉強ができるようになりたかったのではなく、とにかく英語を話せるようになることにもものすごくあこがれていました(結局、今でもその夢はかなっていませんが・・・)。中3の担任の先生が英語の先生だったので生活記録(前芝でいうところの滯標)を英語で書いたり、洋画をよく見に行ったり、その映画のビデオと英文で書かれた台本を買って何度重ねてしゃべって練習したりと。まあ、勉強というよりも趣味でした。だからまったく苦に思ったことはありませんでした。

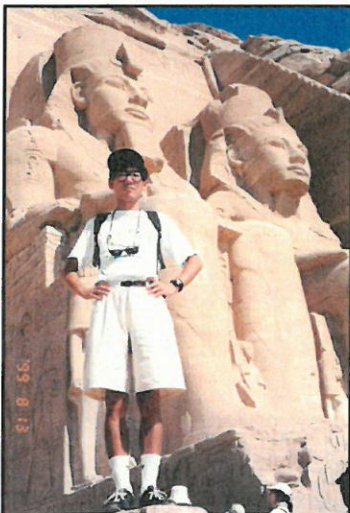
それと、私は兄2人、第1人の4人兄弟なのですが、兄弟がみんな地元を離れた大学に進学し下宿していました。まあ、もともと教師になりたかったので地元から出るつもりはなかったのですが、みんな出ていくと「いいなあ、一人暮らし」とあこがれるところがありました。それらが重なって、いろんな国へ行ってみたいと思っていました。

初めて海外に行ったのが20歳の時。大学の友人と3人でロサンゼルスに行きました。往復の航空券と数百ドルのトラベラーズチェックを握りしめの、2週間の旅でした。そのころはジェットコースターに乗りたくて仕方がなくて、ロスの4大テーマパークのうち、ディズニーランド、ユニバーサルスタジオとハリウッド、ナッツベリーファームで遊びまわりました。バスで移動しリトル東京でカレーを食べ、明らかにチャイニーズ系が経営している日本食レストランでまずいみそ汁を飲み、カレーの皿よりでかいハンバーガーを食べ、本当に楽しい2週間でした。電話でホテルの予約を取れた時には、「自分の英語が通用するんだ」と感激したのを覚えています。



ミャンマーとの国境を隊列を組んでトレッキングしました。

それから大学を卒業し、教師になってからも海外旅行をしました。そこからは英会話よりも秘境・魔境に興味を持ち始めたので、旅先はというとタイ、インド、エジプトといういわゆる文明から離れた国でした。一度でいいから象に乗りたくてタイに行き、象に乗って2時間のトレッキング。帰りは竹をつるで編んで作ったいかだを、竹竿一本で自分で操舵して1.5時間の川下り。運転手のおじさんにやたらとウイスキーを勧められて昼間っから飲んでいました。タージマハルを見たくてインドに行ったときには、突然おじさんが目の前に来てかごを置いたかと思うと、いきなり笛を吹き始めコブラショーが始まりお金をぼられそうになりました。エジプトに行ったのもラクダに乗ってみたいで行きました。ホテルのプールで泳いでいると目の前にピラミッドが見えて、その時には「なんだかテレビで見てたのと全然違って、都会に突然、歴史遺産が現れるやん」と嬉しいようながっかりしたような気分になりました。でも、今でもエジプト考古学博物館を見学したことと気温45度を体感できたのは忘れられません。グアムにも行きましたがもっぱらバナナボートやシュノーケリングで遊んでいました。



ここはアブシンベル神殿というところ。高さが30mくらいだったかな?! 実はこれ、裏側は空洞です。

教師としても、新任研修で洋上研修という船で日本一周する10日間の旅に行くように命じられました。これも忘れられない思い出です。日本全国の新任の先生と東京からフェリーで博多と釧路に行き、その間に船の上で研修を受けるという旅行しながらの勉強でした。大宰府や釧路湿原などに行き、途中、瀬戸大橋を下から見上げたり日本海では朝鮮半島の光が見え、北海道では北方領土を目の前に見えました。

未だに一人暮らしはしたことがないですが、旅は今でも行きたいですね。なんというか世界観が変わるといえるか。たった数日間の旅でもそう思わせてくれるのが旅のいいところです。いつかフランスとケニアに行きたいなという夢を抱いています。フランスでは、『キャプテン翼』というマンガで翼君と岬君が再会したエッフェル塔と絵描きさんが集うモンマルトルの丘、そしてユーロスターに乗ってイギリスに渡りたいですね。ケニアはとにかく明りのないところで「きらめく満天の星」というのを見てみたいです。

みんなが大人になるころには、今よりさらに海外が身近になることでしょう。私は田舎暮らしが好きなので地元を離れるつもりはまったくないですが、ふらっと旅に出てみたいという気持ちは今でも持っています。みんなも機会があったら旅に出ることをお勧めします。もちろん、親が許してくれたらですよ。